

# わくわく 本だな



## こんげつの おすすめ

★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

### 『あまやどり』 ★

市川 宣子／作 陣崎 草子／絵 文研出版

がんでわがままなおとうのよう  
くんが、雨の中どこかいっちゃった。  
みつけたとき、手にもっていたのは、  
なんと、すずめの赤ちゃんだったの。



### 『ニブルとたいせつなきのみ』 (えほん)

ジーン・ジオン／文 マーガレット・プロイ・グレアム／絵 ひがし ちから／訳 ビリケン出版

子リスのニブルは、だまされて  
きのみをとられました。ごちそう  
になるはずだったきのみ。ニブル  
は、とりかえそうとがんばります。



### 『アーヤと魔女』 ★★

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作

佐竹 美保／絵 田中 薫子／訳 徳間書店



身よりのないアーヤは、魔女の家  
に引きとられますが、こきつかわれ  
てばかり。こっそり魔法の呪文を作  
って、しかえしすることにしました。

### 『ポテトサラダ』 ★★

福 明子／作 江頭 路子／絵 学研教育出版



ぼくは、お肉屋さんにいるブタ  
のぬいぐるみ。いつも、ポテトサ  
ラダを買いにきたケイくんが、来  
なくなって心配なんだ。

### 『バク夢姫のご学友』 ★★★

柏葉 幸子／作 児島 なおみ／絵 偕成社

五月は、バクの夢姫とともに人食  
いが住む屋敷にまよいこみました。  
この家の主人を喜ばせる劇を成功さ  
せなければ、無事には帰れません。



### 『ずかんへんてこ姿の生き物』

(ちしきの本)

今泉 忠明／監修 技術評論社

骨と体を広げて空をとぶトビへ  
ビやとうめいなカエル。見たこと  
もない、かわった形の生き物を、  
写真とともに紹介しています。





『ジブリルのくるま』 (えほん)

市川 里美/作 BL出版

ジブリルは、ガラクタでくるまをつくるのが大好きです。おとうさんにすててくるようにいわれますが、<sup>いちば</sup>市場でうることをおもいつきました。

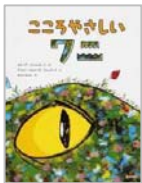


『こころやさしいワニ』 (えほん)

ルチア・パンツィエリ/さく

アントン・ジョナータ・フェッラーリ/え

さとう のりか/やく 岩崎書店



ワニのゆめは、ペットになって子どもたちといっしょにあそぶこと。そこで、えほんのワニになって、いえにもぐりこむことにしました。

『きえたアイドルのなぞ』

ゆうれいたんていドロヒュー①』 ★

やまもと しょうぞう/作・絵 フレーベル館



ようかいに名まえの「た」をとられ、たかしくんが「おかし」になった！？ たすけるために、まず、じごくのえんま大王とクイズでしようぶします。

『アンナのうちはいつもにぎやか』 ★★

アティヌーケ/作 ローレン・トビア/絵

永瀬 比奈/訳 徳間書店

アンナはアフリカの女の子。大きな家でたくさんの家族と、にぎやかにくらしています。そんなアンナの夢は、いつか雪を見ることです。



『めそめそけいくん、のち、青空』 ★

矢部 美智代/作 長田 恵子/絵 学研教育出版

いいたいことがすぐにいえなくて、ないてしまうけいくん。犬のクマのおかげで、おしゃべりな花ちゃんとともだちになりました。



『世界一かわいげのない孫だけど・・・』

★★★★

荒井 寛子/作 勝田 文/絵 ポプラ社



いなかでおばあちゃんとくらすことになった美波。<sup>みなみ</sup>いやみばかり言うおばあちゃんにうんざりだけど、<sup>らくご</sup>落語のネタにしてみたら・・・。

『おまけ鳥』 ★★★

飯田 朋子/作 長野 ともこ/絵 新日本出版社



ぼくの家はラーメン屋。お姉ちゃん<sup>ちてきしょうがい</sup>は知的障害があるけど、お店で一生けんめいはたらいている。鳥の形をしたぎょうざも作れるんだ。

『こども野菜塾』 (ちしきの本)

柿沢 安耶/作 明治書院

寒さから体を守る野菜は？果物とのちがいて？野菜の色や味のヒミツ、ナスやピーマンを使ったスイーツの作り方も教えてください。



『まぼろしの上総国府を探して』

(ちしきの本)

たからしげる/作 くもん出版

昔、千葉県にあった上総国。その都「上総国府」はどこにあったかわかりません。この謎を、新聞記者の作者が追いかけてます。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273